

## 再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	京都縦貫自動車道 一般国道478号 丹波綾部道路	事業区分	一般国道	事業主体	近畿地方整備局 京都府道路公社								
起終点	自：京都府綾部市 七百石町 至：京都府船井郡 京丹波町市森	延長	29.2km										
事業概要	<p>京都縦貫自動車道は南北に長い京都府の北部地域と南部地域を結ぶ高規格幹線道路であり、府域の一体的発展に資する道路である。</p> <p>丹波綾部道路は、京都縦貫自動車道の一部区間を構成し、京都府北部及び中部地域の活性化を図るとともに、物流の効率化、さらには一般国道27号に対するリダンダンシーの確保等を目的に計画された道路である。</p>												
H5年度事業化	H5年度都市計画決定 (H-年度変更)	H8年度用地着手	H9年度工事着手										
全体事業費	2,146億円	事業進捗率	約48%	供用済延長	10.3km								
計画交通量	16,500台/日												
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (事業全体) 1.4</td> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業)/(事業全体) 1,009/2,343億円</td> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業)/(事業全体) 2,474/3,343億円</td> <td style="width: 50%;">基準年 平成25年</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 2.5</td> <td>                     事業費：840/2,175億円                      維持管理費：169/169億円                 </td> <td>                     走行時間短縮便益：2,034/2,724億円                      走行経費減少便益：343/490億円                      交通事故減少便益：97/129億円                 </td> <td></td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,009/2,343億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,474/3,343億円	基準年 平成25年	(残事業) 2.5	事業費：840/2,175億円 維持管理費：169/169億円	走行時間短縮便益：2,034/2,724億円 走行経費減少便益：343/490億円 交通事故減少便益：97/129億円					
B/C (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,009/2,343億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,474/3,343億円	基準年 平成25年										
(残事業) 2.5	事業費：840/2,175億円 維持管理費：169/169億円	走行時間短縮便益：2,034/2,724億円 走行経費減少便益：343/490億円 交通事故減少便益：97/129億円											
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=1.2~1.7(交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=2.0~2.9(交通量 ±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.4~1.5(事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.3~2.7(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.4~1.5(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.4~2.5(事業期間±20%)</p>												
事業の効果等	<p>①交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道27号蒲生(こも)交差点で夏の行楽期には交通混雑が発生。(最大渋滞長2,800m)</li> <li>・丹波綾部道路全線開通により、蒲生交差点の混雑が解消すると期待される。</li> </ul> <p>②地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津市~京都市間の所要時間が短縮。(119分→99分)</li> </ul> <p>③物流の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都舞鶴港と名神高速京都南IC間の高速輸送ルートが整備され、京都府を縦断する物流ネットワークが形成されるため、関西圏の物流が効率化すると期待される。</li> <li>・京都市~京都舞鶴港の所要時間が短縮。(120分→101分)</li> </ul> <p>④災害時等における代替路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害等により国道9号、国道27号等が通行止めとなった場合の代替路が確保できる。</li> </ul> <p>⑤主要な観光地へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北に長い京都府内の地域間移動がスムーズになり、より多くの観光地を周遊することが可能になるなど、京都府北部地域の観光産業を支援すると期待される。</li> <li>・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。(天橋立：160.8万人/年(H24))</li> </ul> <p>⑥日常生活圏中心都市へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部市~京都市の所要時間が短縮。(93分→91分)</li> </ul> <p>⑦三次医療施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部市~京都第一赤十字病院の所要時間が短縮。(104分→87分)</li> </ul>												
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府国道連絡会(会長：舞鶴長市、会員：京都府下26市町村長)より平成24年8月に整備促進の要望を受けている。</li> </ul> <p>京都府知事の意見：</p> <p>対応方針(原案)案のとおり、引き続き事業を推進し、平成26年度の確実な早期完成をお願いします。</p>												

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道478号丹波綾部道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

京都府北部地域の移動交通手段は自動車交通の依存度が高く、一世帯に2台の自動車を保有。一般国道27号の交通量は増加傾向にある。  
京都第二外環状道路の開通開始により、京都縦貫道の交通量が増加。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに、4工区2.6km、3工区7.7km、合計10.3kmを暫定2車線にて開通済み、用地進捗率：約99%、事業進捗率：約48%。  
残る区間18.9kmについて、用地取得および改良工事等を推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、平成26年度の暫定2車線開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

# 再評価結果(平成26年度事業継続箇所)

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	京都縦貫自動車道 一般国道478号 丹波綾部道路	事業区分	一般国道	事業主体	近畿地方整備局 京都府道路公社
起終点	自：京都府綾部市 七百石町 至：京都府船井郡 京丹波町市森	延長	29.2km		

## 事業概要図

### 【位置図】



### 【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。